

コロナ禍における自殺の状況について

健康医療局保健医療部
がん・疾病対策課

コロナ禍における自殺の動向に関する分析(緊急レポート)

【全国の場合・主なポイント】 厚生労働大臣指定法人 いのち支える自殺対策推進センター(R2.10.21)参照

1 本年の自殺の動向は、例年とは明らかに異なっている。

(自殺者数は近年減少傾向だったが、2020年に入ったあたりから上昇。女性の上昇が顕著)

2 本年4月から6月の自殺者数は、例年よりも減少している。

(社会的危機の最中あるいは直後には人々の死への恐怖や社会的連帯感・帰属感の高まりにより自殺者数減少傾向)

3 様々な年代において、女性の自殺は増加傾向にある。

(7月、8月で「同居人がいる女性」「無職の女性」の自殺者増。女性の自殺の背景には、経済生活問題や勤務問題、DV被害、育児の悩み、介護疲れ、精神疾患等様々な問題が潜んでいる。コロナ禍で人と接する機会や場が少なくなり、経済的にも不安定な生活を強いられる女性が増えている中で今後、女性の自殺リスクがさらに高まることが懸念。)

4 自殺報道の影響と考えられる自殺の増加がみられる。

(若手有名俳優の自殺報道後、自殺者数が増加。「ウェルテル効果」)

5 本年8月に、女子高校生の自殺者数が増加している。

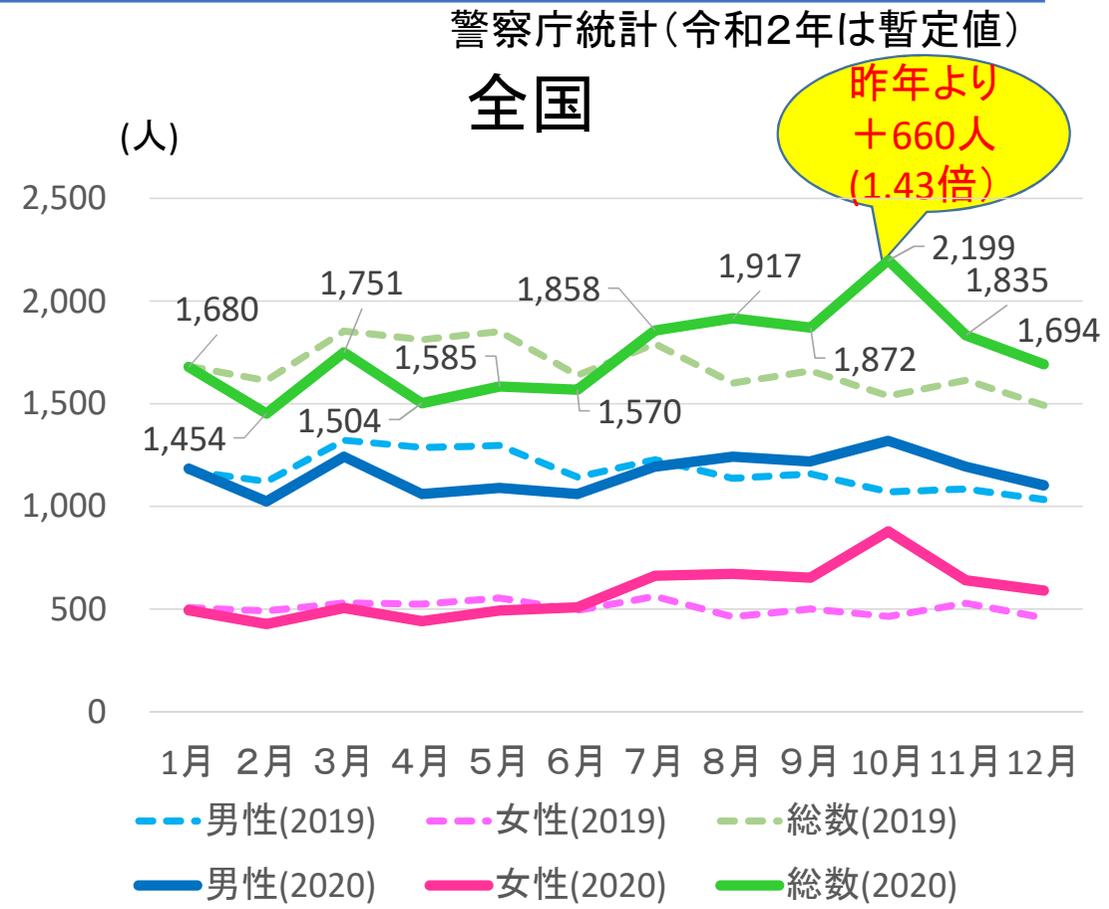
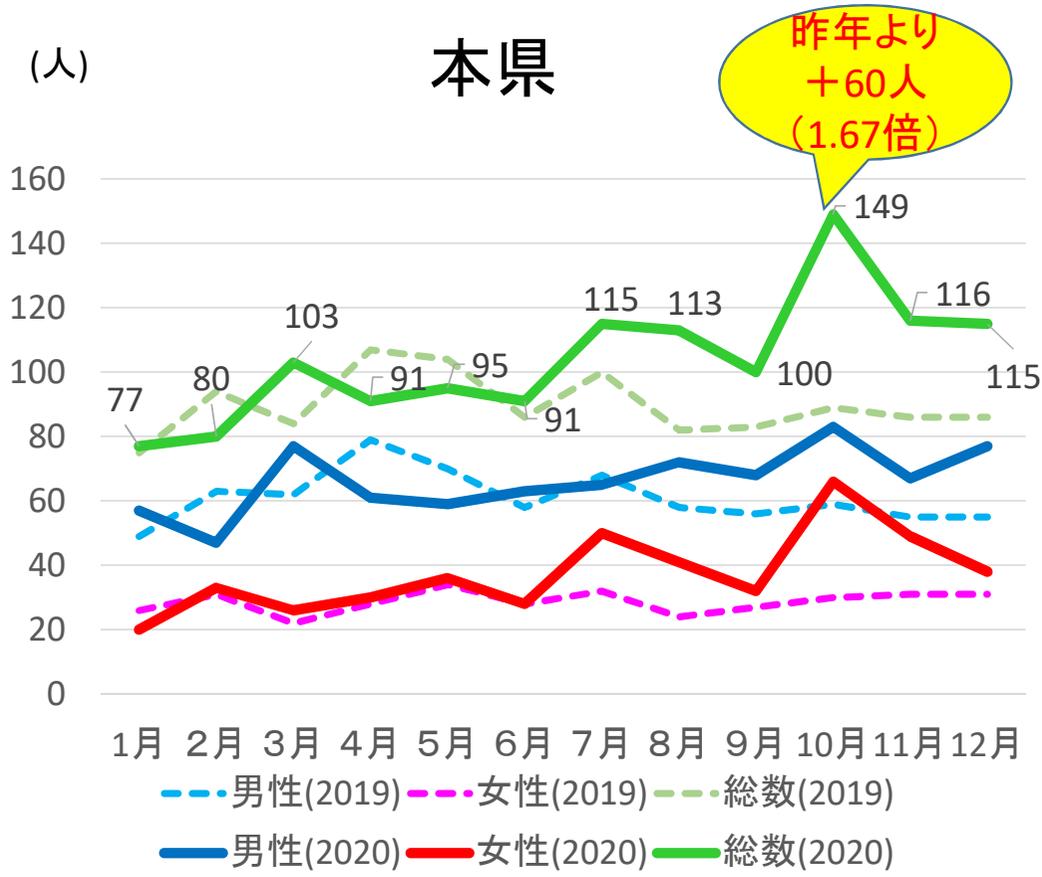
(「休校明けの学校生活になじめない」「オンライン授業についていけない」「家族がステイホームで家族問題増加」等)

6 自殺者数は、依然として女性よりも男性が多い。

(本年8月までの自殺者数は68%が男性。全体の3割超を40～60代の中高年男性)

7 政府の各種支援策が自殺の増加を抑制している可能性がある。

自殺者数の状況(男女別・前年比較)

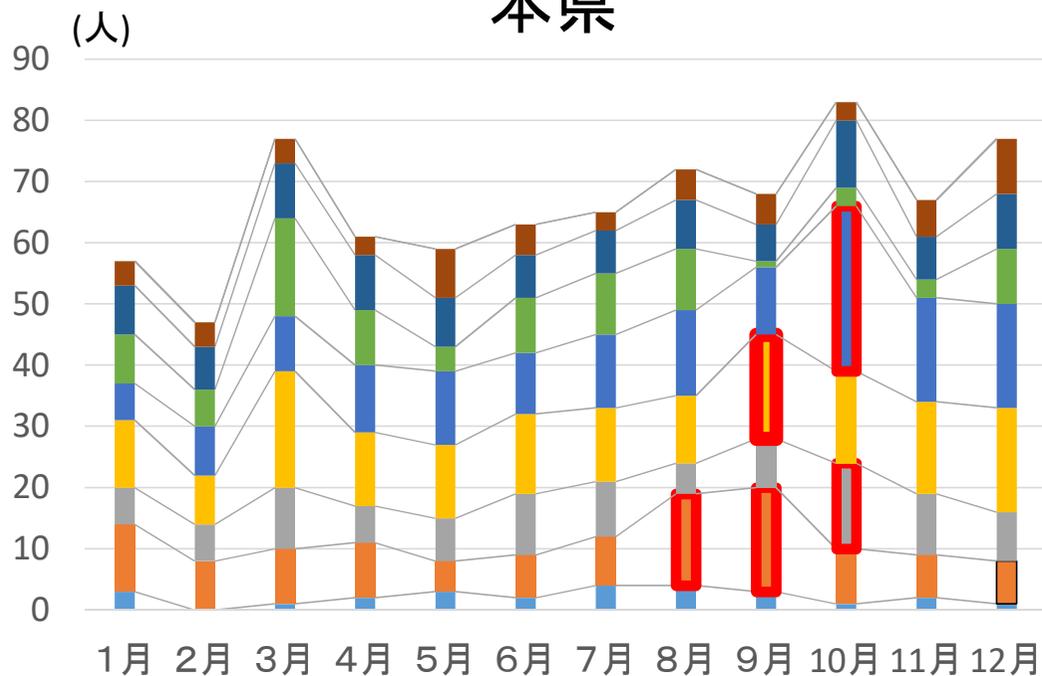


全国・本県とも今年7月から増加。10月は急増。

自殺者数の状況(2020年・男性)

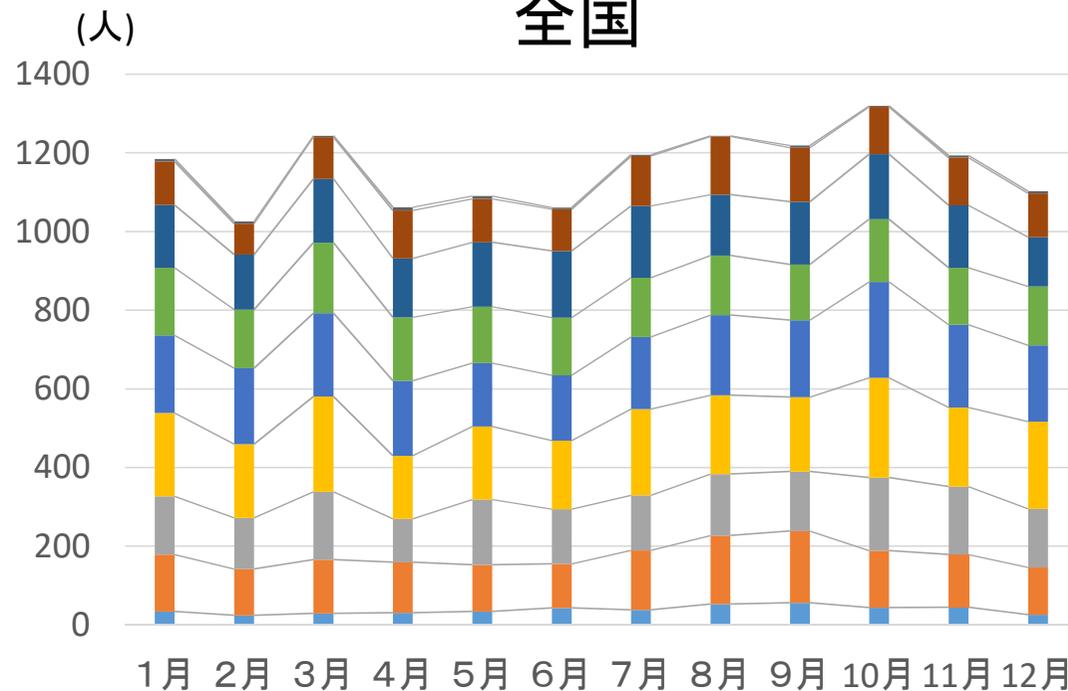
警察庁統計暫定値

本県



■ 20歳未満 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳
■ 60～69歳 ■ 70～79歳 ■ 80歳以上 ■ 不詳

全国

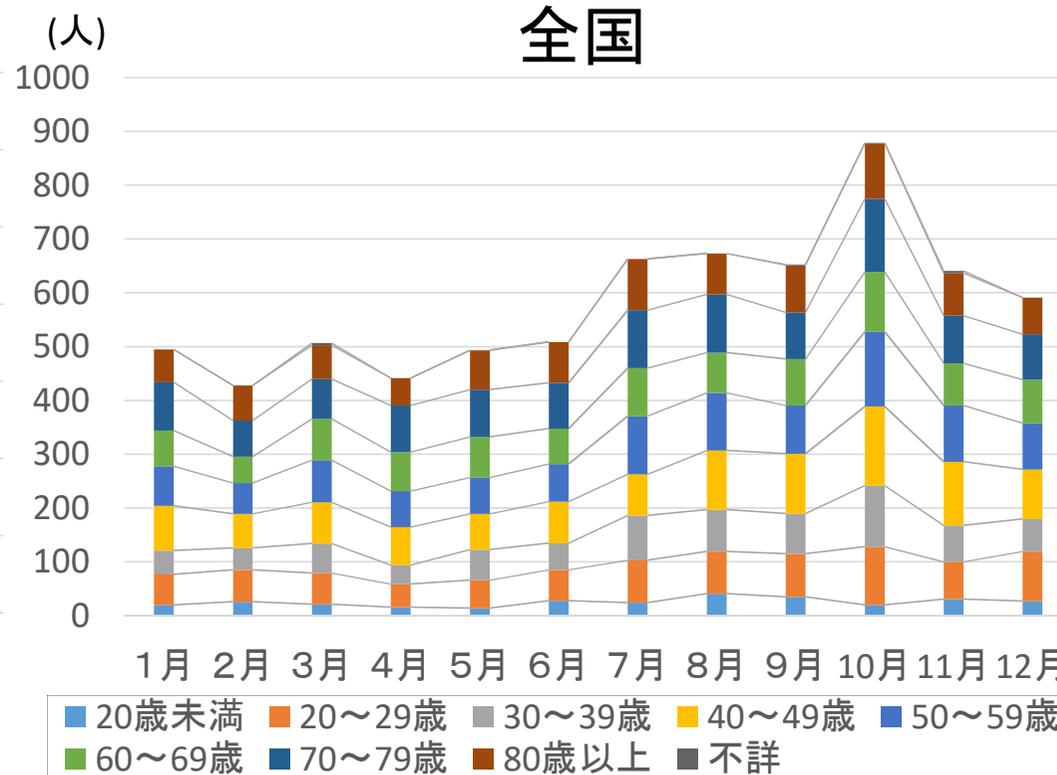
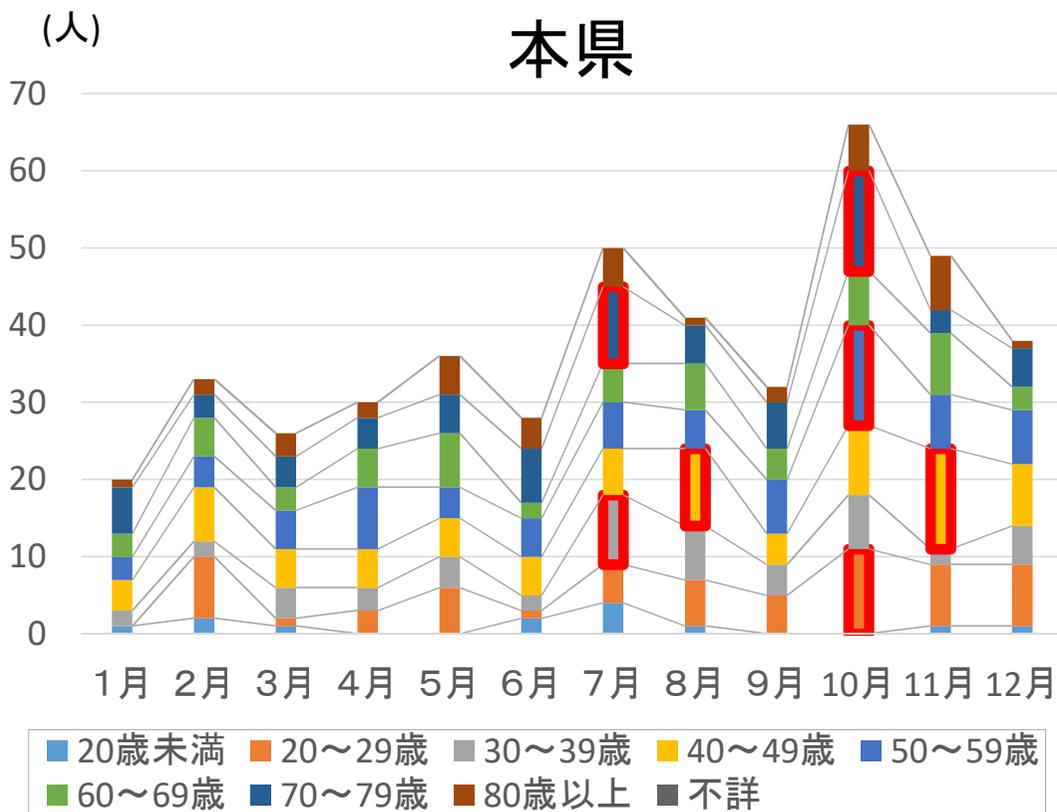


■ 20歳未満 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳
■ 60～69歳 ■ 70～79歳 ■ 80歳以上 ■ 不詳

本県は、8月の20代、9月の20代・40代、10月の30代・50代の増が顕著。

自殺者数の状況(2020年・女性)

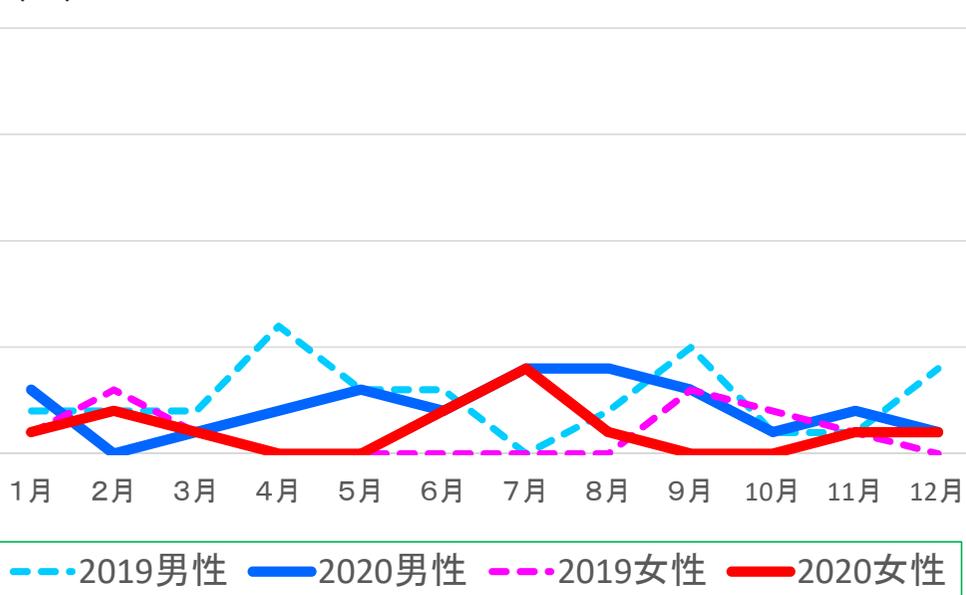
警察庁統計暫定値



本県は、7月の30代・70代、8月の40代、10月の20代・50代・70代、11月の40代の増が顕著。

自殺者数の状況(10代)

(人)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

横ばい

【コロナ禍の状況】

- ・勤務環境の変化・失業・雇止め・就職困難
- ・外出自粛によるオンラインによる授業、休校明けの順応困難
- ・ステイホームにより家族問題増加
- ・コミュニケーション不足
- ・感染の不安

【参考】H21～H30の実態から見る10代の主な自殺の原因・動機

令和元年版自殺対策白書より(※H21～H30までの合計(全国の状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性)

有職者は勤務問題、男女問題が多い。

無職者はうつ病等精神疾患多く、進路、入試に関する悩み多い。

(有職者)

- ①職場の人間関係(15.8%)
- ②仕事疲れ(13.3%)
- ③失恋(10.8%)
- ④仕事の失敗(10.0%)
- ⑤勤務問題その他(8.9%)

(無職者)

- ①うつ病(15.4%)
- ②その他精神疾患(14.7%)
- ③統合失調症(11.6%)
- ④その他進路に関する悩み(8.9%)
- ⑤入試に関する悩み(6.8%)

(女性)

有職者は、うつ病の他、人間関係の悩みが多い。

無職者は、うつ病等精神疾患多く、男女問題、親子問題多い。

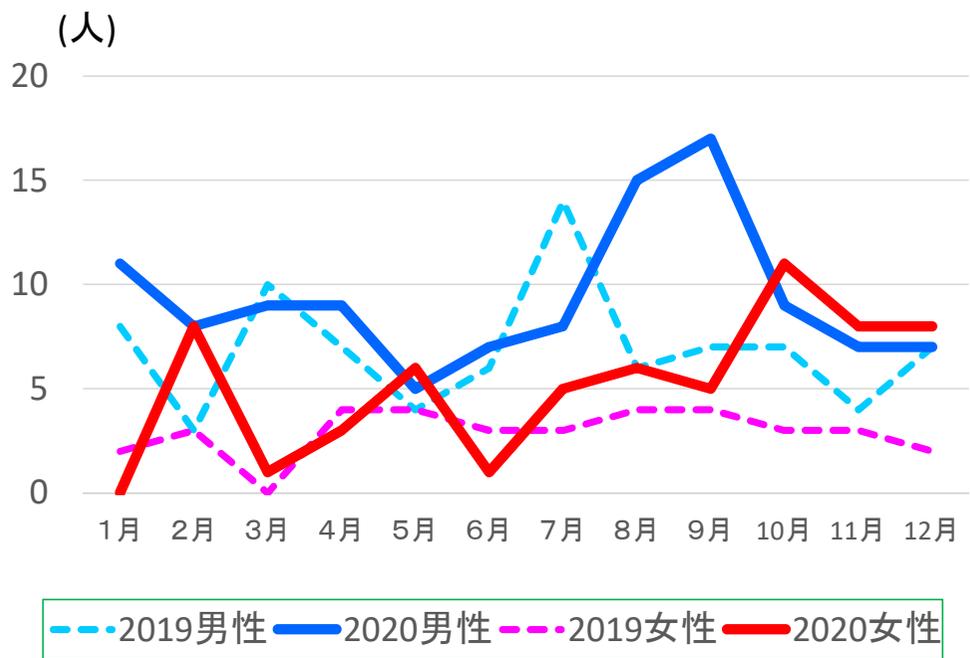
(有職者)

- ①うつ病(18.6%)
- ②その他交際をめぐる悩み(15.7%)
- ③その他の精神疾患(11.4%)
- ④失恋(10.0%)
- ⑤職場の人間関係(9.3%)

(無職者)

- ①うつ病(31.7%)
- ②その他の精神疾患(20.5%)
- ③統合失調症(14.6%)
- ④失恋(6.3%)
- ⑤親子関係の不和(5.4%)

自殺者数の状況(20代)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

**8月・9月の男性、
10月の女性の増が顕著**

【コロナ禍の状況】

- ・勤務環境の変化・失業・雇止め・就職困難・生活の不安
- ・外出自粛によるオンラインによる授業
- ・コミュニケーション不足
- ・感染の不安

【参考】H21～H30の実態から見る20代の主な自殺の原因・動機

令和元年版自殺対策白書より(※H21～H30までの合計(全国状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性)

有職者は勤務問題が多く、勤務問題の悩み併せ持つうつ病の方48.2%。
無職者は有職者と比べ健康問題多く、経済・生活問題の悩み併せ持つうつ病の方28.6%、健康問題の悩み併せ持つ方は23.2%。

(有職者)

- ①仕事疲れ(14.49%)
- ②うつ病(14.46%)
- ③職場の人間関係(11.9%)
- ④仕事の失敗(8.4%)
- ⑤失恋(7.9%)

(無職者)

- ①うつ病(25.0%)
- ②統合失調症(14.8%)
- ③就職失敗(11.8%)
- ④その他の精神疾患(11.6%)
- ⑤失業(7.5%)

(女性)

女性は男性と比較して、うつ病が多く、人間関係の悩みも多い。
有職者は、勤務問題の悩み併せ持つうつ病の方29.8%
無職者は、健康問題の悩み併せ持つうつ病の方27.9%で、家庭問題の悩み併せ持つ方は27.6%。

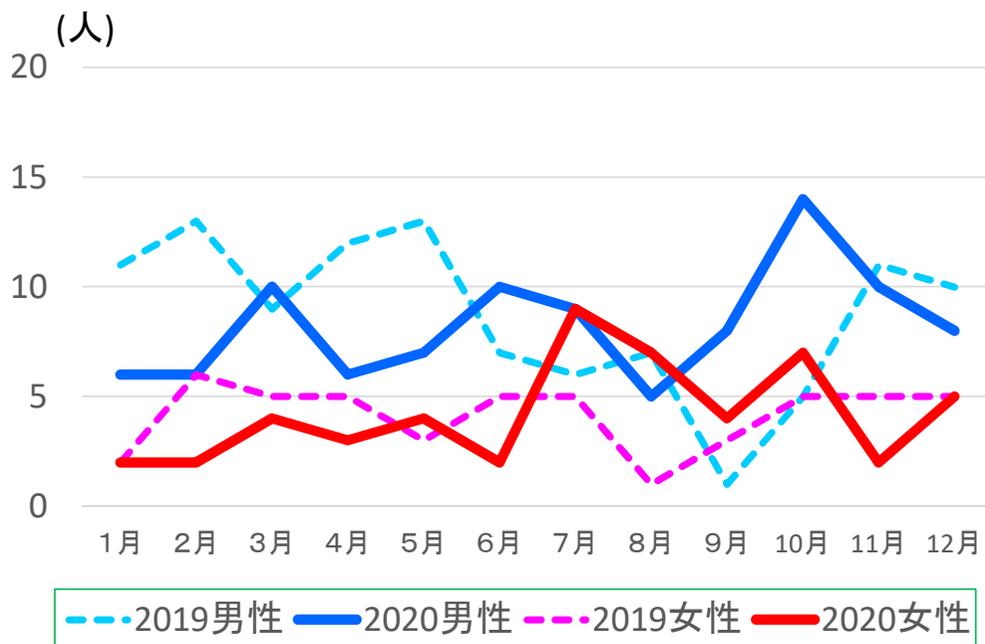
(有職者)

- ①うつ病(35.7%)
- ②その他交際をめぐる悩み(11.6%)
- ③その他の精神疾患(11.1%)
- ④失恋(9.6%)
- ⑤職場の人間関係(9.6%)

(無職者)

- ①うつ病(46.2%)
- ②統合失調症(16.9%)
- ③その他の精神疾患(15.5%)
- ④その他交際をめぐる悩み(5.0%)
- ⑤失恋(4.3%)

自殺者数の状況(30代)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

男性は9月・10月、女性は10月増加

【コロナ禍の状況】

- ・勤務環境の変化・失業・雇止め・就職困難・生活の不安
- ・外出自粛による家事や子育て等の負担感増
- ・ステイホームにより家族問題が増加
- ・コミュニケーション不足
- ・感染の不安

【参考】H21～H30の実態から見る30代の主な自殺の原因・動機

令和元年版自殺対策白書より(※H21～H30までの合計(全国の状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性)

有職者は勤務問題が多いものの、うつ病や家庭問題も多く、勤務問題の悩み併せ持つうつ病の方42.2%。無職者は有職者と比べうつ病、経済・生活問題多く、経済・生活問題の悩み併せ持つうつ病の方35.5%。

(有職者)

- ①うつ病(21.6%)
- ②夫婦関係の不和(12.1%)
- ③仕事疲れ(11.6%)
- ④職場の人間関係(8.9%)
- ⑤負債(多重債務)(8.8%)

(無職者)

- ①うつ病(30.2%)
- ②統合失調症(16.8%)
- ③失業(11.2%)
- ④生活苦(9.4%)
- ⑤その他の精神疾患(9.1%)

(女性)

男性に比べうつ病多い。また、家庭問題の悩み併せ持つうつ病の方、有職者、無職者問わず多い。無職者は有職者に比べうつ病多い。

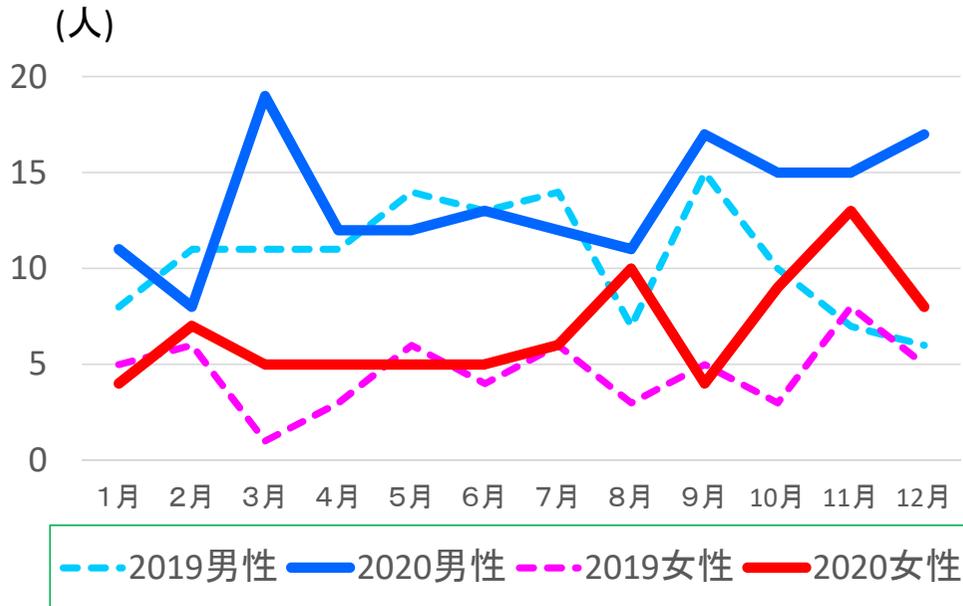
(有職者)

- ①うつ病(39.0%)
- ②夫婦関係の不和(9.2%)
- ③その他の精神疾患(8.7%)
- ④職場の人間関係(7.9%)
- ⑤統合失調症(6.2%)

(無職者)

- ①うつ病(48.7%)
- ②統合失調症(19.2%)
- ③その他の精神疾患(12.8%)
- ④子育ての悩み(6.8%)
- ⑤夫婦関係の不和(6.3%)

自殺者数の状況(40代)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

女性は8月・10月・11月、
男性は9月の増が顕著

【コロナ禍の状況】

- ・勤務環境の変化・失業・雇止め・生活の不安
- ・外出自粛による家事や子育て等の負担感増
- ・ステイホームにより家族問題が増加
- ・コミュニケーション不足
- ・感染の不安

【参考】H21～R1の実態から見る40代の主な自殺の原因・動機

令和2年版自殺対策白書より(※H21～R1までの合計(全国の状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性)45歳未満は、うつ病に次いで家庭問題が多い。

45歳以上は、うつ病に次いで経済・生活問題が顕著。

(40～44歳)

- ①うつ病(25.8%)
- ②夫婦関係の不和(9.4%)
- ③生活苦(8.8%)
- ④負債(多重債務)(8.4%)
- ⑤統合失調症(7.2%)

(45～49歳)

- ①うつ病(25.9%)
- ②生活苦(9.7%)
- ③負債(多重債務)(9.2%)
- ④身体の病気(8.7%)
- ⑤負債(その他)(8.4%)

(女性)健康問題が上位4位までを占める。次いで、家庭問題が顕著。

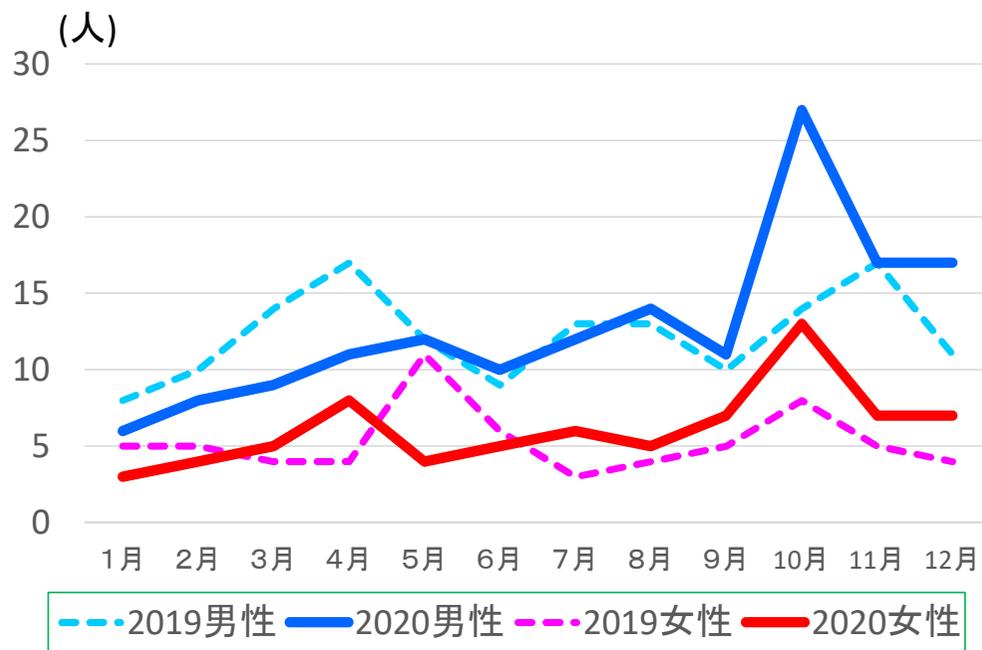
(40～44歳)

- ①うつ病(47.4%)
- ②統合失調症(14.5%)
- ③その他の精神疾患(10.0%)
- ④身体の病気(8.0%)
- ⑤夫婦関係の不和(7.1%)

(45～49歳)

- ①うつ病(47.4%)
- ②統合失調症(13.8%)
- ③身体の病気(10.6%)
- ④その他の精神疾患(9.9%)
- ⑤夫婦関係の不和(6.8%)

自殺者数の状況(50代)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

**男性は10月激増、
女性は9月・10月増加傾向**

【コロナ禍の状況】

- ・勤務環境の変化・失業・雇止め・事業不振・生活の不安
- ・感染の不安
- ・外出自粛による介護・看病等の負担感増
- ・ステイホームにより家族問題が増加
- ・コミュニケーション不足

【参考】H21～R1の実態から見る50代の主な自殺の原因・動機

令和2年版自殺対策白書より(※H21～R1までの合計(全国の実況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性)うつ病に次いで身体の病気が多い。経済・生活問題も顕著。

(50～54歳)

- ①うつ病(24.0%)
- ②身体の病気(12.3%)
- ③生活苦(11.5%)
- ④負債(多重債務)(9.7%)
- ⑤負債(その他)(8.9%)

(55～59歳)

- ①うつ病(22.1%)
- ②身体の病気(18.0%)
- ③生活苦(13.2%)
- ④負債(多重債務)(9.9%)
- ⑤事業不振(9.0%)

(女性)健康問題に次いで、55歳未満は家庭問題、55歳以上は生活苦も上位。

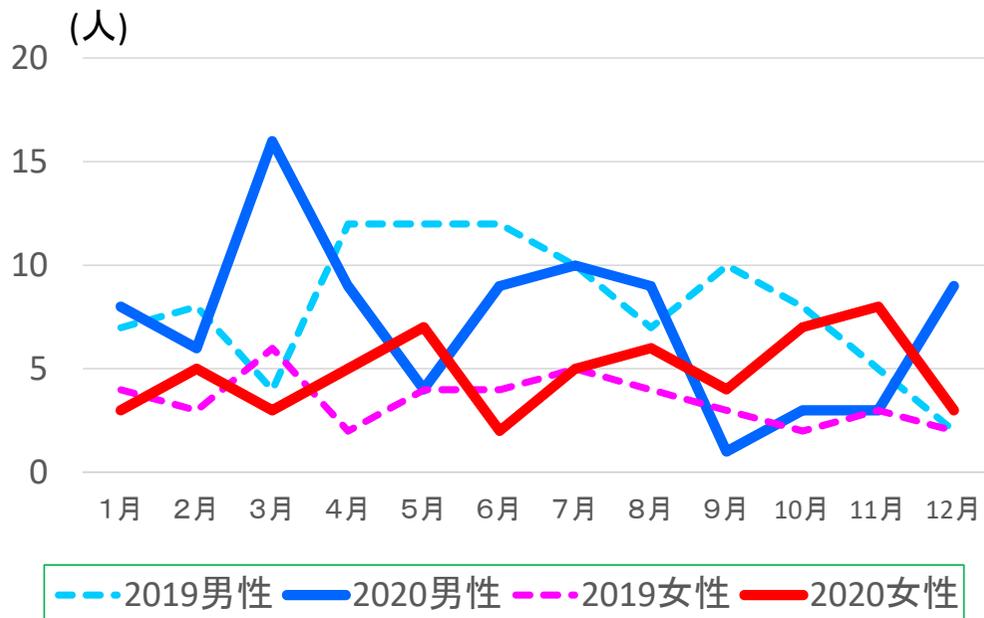
(50～54歳)

- ①うつ病(50.1%)
- ②身体の病気(14.1%)
- ③統合失調症(12.2%)
- ④その他の精神疾患(8.1%)
- ⑤夫婦関係の不和(5.3%)

(55～59歳)

- ①うつ病(49.1%)
- ②身体の病気(18.5%)
- ③統合失調症(10.3%)
- ④その他の精神疾患(8.2%)
- ⑤生活苦(5.1%)

自殺者数の状況(60代)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

男女とも9月に減少したが10月は増加、男性は12月に再び増加

【コロナ禍の状況】

- ・勤務環境の変化・失業・雇止め・事業不振・生活の不安
- ・感染の不安
- ・外出自粛による介護・看病等の負担感増
- ・ステイホームにより家族問題が増加
- ・コミュニケーション不足

【参考】H21～R1の実態から見る60代の主な自殺の原因・動機

令和2年版自殺対策白書より(※H21～R1までの合計(全国の状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性)健康問題に次いで、経済・生活問題も顕著。

(60～64歳)

- ①身体の病気(27.3%)
- ②うつ病(20.9%)
- ③生活苦(13.0%)
- ④事業不振(9.3%)
- ⑤負債(その他)(7.8%)

(65～69歳)

- ①身体の病気(37.7%)
- ②うつ病(21.6%)
- ③生活苦(9.5%)
- ④事業不振(6.4%)
- ⑤負債(その他)(5.8%)

(女性)健康問題に次いで、家庭問題。

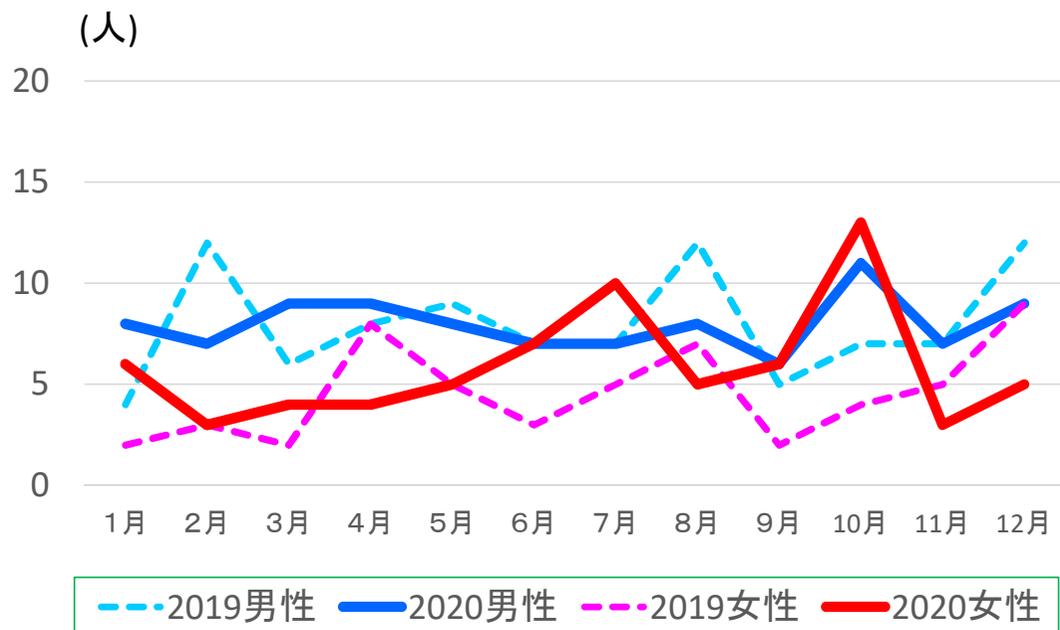
(60～64歳)

- ①うつ病(48.5%)
- ②身体の病気(23.9%)
- ③統合失調症(8.6%)
- ④その他の精神疾患(8.5%)
- ⑤家族の将来悲観(4.1%)

(65～69歳)

- ①うつ病(47.9%)
- ②身体の病気(29.9%)
- ③その他の精神疾患(7.6%)
- ④統合失調症(6.1%)
- ⑤家族の将来悲観(4.3%)

自殺者数の状況(70代)



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

男女とも10月に増加

【コロナ禍の状況】

- ・感染の不安
- ・生活の不安
- ・外出自粛による介護・看病等の負担感増
- ・家族の死亡
- ・コミュニケーション不足、孤独感

【参考】H21～R1の実態から見る70代の主な自殺の原因・動機

令和2年版自殺対策白書より(※H21～R1までの合計(全国の状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性) 身体の病気の割合が大きい。経済・生活問題や家族問題も上位。

(70～74歳)

- ① 身体の病気(46.4%)
- ② うつ病(20.9%)
- ③ 生活苦(6.4%)
- ④ その他の精神疾患(5.0%)
- ⑤ 夫婦関係の不和(3.9%)

(75～79歳)

- ① 身体の病気(54.1%)
- ② うつ病(19.3%)
- ③ その他の精神疾患(5.3%)
- ④ 家族の将来悲観(4.4%)
- ⑤ 生活苦(4.1%)

(女性) 身体の病気の割合が大きい。次いで、家庭問題が顕著。

(70～74歳)

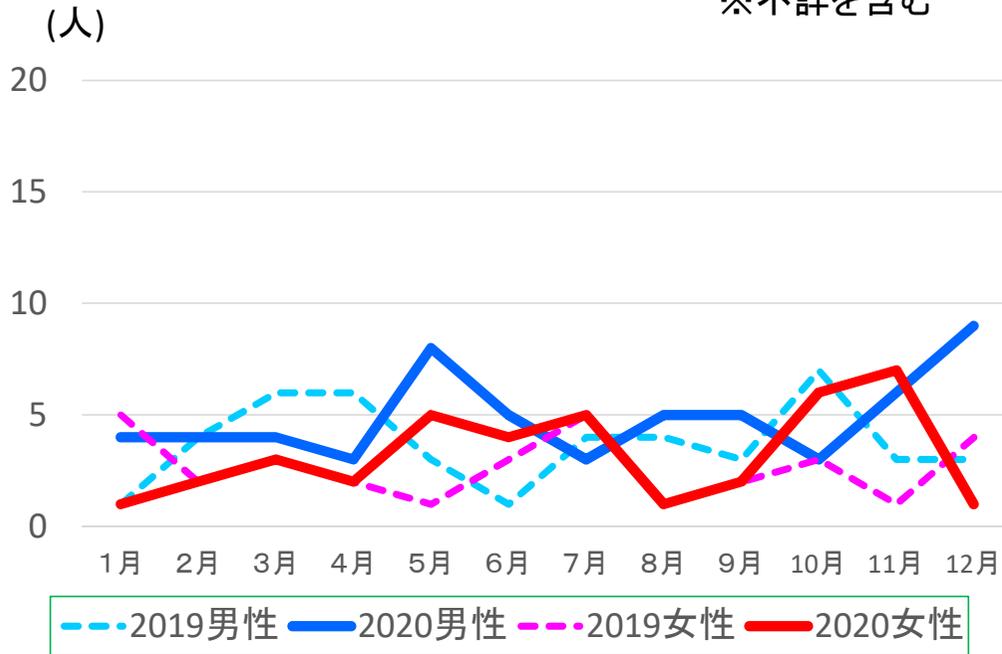
- ① うつ病(44.2%)
- ② 身体の病気(34.6%)
- ③ その他の精神疾患(8.0%)
- ④ 家族の死亡(4.3%)
- ⑤ 家族の将来悲観(4.0%)

(75～79歳)

- ① 身体の病気(42.1%)
- ② うつ病(37.8%)
- ③ その他の精神疾患(7.9%)
- ④ 家族の死亡(5.2%)
- ⑤ 家族の将来悲観(4.1%)

自殺者数の状況(80代～※)

※不詳を含む



警察庁統計(令和元年は確定値、令和2年は暫定値)

**女性は10月の増が顕著、
男性は11月以降増加傾向**

【コロナ禍の状況】

- ・感染の不安
- ・生活の不安
- ・外出自粛による介護・看病等の負担感増
- ・家族の死亡
- ・コミュニケーション不足、孤独感

【参考】H21～R1の実態から見る80代の主な自殺の原因・動機

令和2年版自殺対策白書より(※H21～R1までの合計(全国状況)、自殺者1人につき、主な要因3つまで計上可能)

(男性) 身体の病気、うつ病の割合大きい。家族の死亡、孤独感、家族の将来悲観も上位。

(80～84歳)

- ① 身体の病気(59.8%)
- ② うつ病(16.1%)
- ③ その他の精神疾患(6.3%)
- ④ 家族の死亡(5.0%)
- ⑤ 家族の将来悲観(4.1%)

(85～89歳)

- ① 身体の病気(61.4%)
- ② うつ病(13.2%)
- ③ 家族の死亡(6.3%)
- ④ 孤独感(5.8%)
- ⑤ その他の精神疾患(4.8%)

(女性) 身体の病気、うつ病の割合大きい。家族の死亡、孤独感も上位。

(80～84歳)

- ① 身体の病気(47.5%)
- ② うつ病(31.4%)
- ③ その他の精神疾患(8.4%)
- ④ 孤独感(5.5%)
- ⑤ 家族の死亡(5.2%)

(85～89歳)

- ① 身体の病気(51.6%)
- ② うつ病(21.9%)
- ③ その他の精神疾患(8.6%)
- ④ 孤独感(7.3%)
- ⑤ 家族の死亡(4.7%)